

私はマレーシアでおよそ30年間、日本食に関わる仕事をしてきましたが、最後にこのような栄誉ある賞を頂けるとは夢にも思いませんでした。本当に感激しております。ありがとうございました。

さて、私がマレーシアになぜ行ったのか、何をやりに行ったのかというと、はじめは何もアイデアはなかったのですが、たまたま私の友人がシンガポールで事業をしており、彼とマレーシアの日本人事業家が合併で、回転寿司の店を展開しようという話になりまして、私はその先兵としてマレーシアに赴き、なおかつ、その事業の店長のような役割として、日本の回転寿司の店舗展開を始めました。

マレーシアには当時、日本食がほとんどありませんでした。あってもホテルに付属した高級レストランぐらいで、利用される方は日本から来ている方々や、あるいはそこで働いている一部の人たちが日本食を食べているという状況でした。ましてや、マレーシアには生の食物を食べるという習慣もなく、刺身はいわば、ご法度のような状況だったのです。ところが回転寿司の店を1軒開けたところ、連日、大勢のお客さまが来場されて、とても繁盛したことを記憶しております。

その後、この店舗は今や、マレーシアでも一番大きな回転寿司チェーンになりました。「SUSHI KING（すし金）」という名前で、現在130店舗ぐらいあり、年間来客者数が1億人ぐらいあります。マレーシアの人口は3300万人ぐらいですから、のべ1億人というのは、ものすごい数字になったと思っております。

初めは本当に、マレーシアの人たちは食べませんでした。特にイスラム系の人たちはハラルの問題があり、食することができないというのが初めの段階でしたけれども、それが今や、この店はハラル化されて、マレー系の人たちが大勢立ち寄る店になっています。

1995年の秋に、当時のジャスコ（現イオン）が、クアラルンプールの郊外にショッピングモール形のスーパーマーケットを開店させました。それまで日系のスーパーマーケットはあったけれども、日本人がちょっと寄るくらいであり人気のある店はなかったのですが、このイオンが開くや、ものすごいお客さんでした。日本人だけでなく、地元の人たちも大勢立ち寄るような店になっていきました。特徴は、日本食のフルアソートメントを展開したことです。お菓子類、グロサリー類、冷凍商品などをかなり幅広く展示販売し、地元のお客さんたちに人気を誇りました。日本食がマレーシアに普及し始めたのは、この店がオープンしてからです。しかも、当時のジャスコは全国展開を素早く進めていきました。これに合わせて日本食が全国に広がっていったことを覚えております。

その後、2000年に向かって、今でもマレーシアに来られたら分かると思うのですが、まちなかはマレーシアとは思えないぐらい立派な都市になっております。街の中心には高層のビルが乱立し、見た感じは豊かな生活が行われているように見えます。

そういう中で、私は2007年に自分の会社を立ち上げました。今までは人のために自分の力を貸していたのですが、私も56歳になったので自分の思っていたことをやりたいと思い、JMG Tradingという会社を立ち上げました。日本食品の輸入と販売、それから日本の農産物を広めていこうということで、これに取り組みました。それまではマレーシアで、日本の農産品、野菜や果物などを販売している会社がなかったのです。

背景としてはこの時期に、スーパーマーケットがどんどんオープンしていました。新たにオープンしているスーパーマーケットはどちらかというと、日系よりも、地元の資本家や力のある人たちが店舗展開していたので、私はこれに注目し、ここと取引をやっていこうと思いました。日系はイオンと伊勢丹くらいしかなかったのですが、地元資本のスーパーマーケットは日系のスーパーマーケットに比べて数多く出店しており、

彼らのポリシーが、とにかく新しくて新鮮なものを出していこうということで、オーガニックの野菜売り場や日本の果物を取り入れようという気風のある人たちが多かったので、私はそこに売り込みをかけていきました。われわれの会社でチームを作り、ターゲットを地元のスーパーマーケットとして、こういうところに入り込んでいこうとしました。

最初はなかなか間口を広げていくことができなかったのですが、最初の4店舗が過ぎてから、最終的には2〜3年後ぐらいには67店舗まで、日本の果物と野菜を展示する売り場が作られていきました。売り上げも、最初とは比較にならないぐらいの売り上げを達成することができました。

2007年から事業を始め、昨年、2023年までJMGを大きくしていったのですけれども、私も年寄りになりました。こう言いますと茂木会長に失礼ですけれども、73歳を過ぎまして、私には跡取りがいなかったのが、海外で同じような仕事をやっている日本の石油会社から私の会社を引き取りたいという打診がありまして、渡りに船ではありませんが、私もそろそろ潮時かなということで、北海道に移住することに決めまして、去年の末から北海道の札幌に住むようになりました。

私は北海道は私は住んだことがなく、私の家内が住んでいたのもそこについていったのですが、札幌に行ったらいろいろ見ていると、農産品・水産品の宝庫だと思うようになりました。マレーシアでも人気のサツマイモが北海道でどんどん作られるようになっていて、ブリとか、最近ではフグなどがどんどん取れるようになってきています。私の知り合いが漁業者をやっているものですから、いろいろと話を聞くうちに、次はここ、北海道の品物を海外に売るための手伝いをしていこうと考えておりまして、今、そのような動き方をしております。とても将来ある地域ではないかと思っています。

以上、とりとめのない話をいたしましたけれども、ありがとうございます。